

日本経済新聞

6月21日

木曜日

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 ㊟(03)3270-0251
 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪本社 ㊟(06)6943-7111
 名古屋支社 ㊟(052)243-3311
 西部支社 ㊟(092)473-3300
 札幌支社 ㊟(011)281-3211

建設業の亀井組

「太陽光・省エネ」事業を強化

鳴門の本社改装、モデルに

建設業の亀井組(徳島県鳴門市、朝野佳伸社長)は環境関連事業を強化する。このほど全面改築した本社を、太陽光発電などを備えた省エネビルモデルとして顧客に提案。省エネ対策を含めたビルや工場の新築・改築の受注につなげる。省エネ技術を導入した和風注文住宅も発売した。公共工事の減少傾向が続く中、環境関連事業を経営の柱に育てる。

新築・改築需要掘り起こし



屋上やガラスに太陽光パネルを設置した(徳島県鳴門市の本社)

本社ビル改築では中国の太陽光発電パネルメーカー大手、サンテックパワーのパネルを屋上に設置。発光ダイオード(LED)照明のほか壁面と屋上、駐車場の緑化システム、雨水を災害時にトイレの水として使えるシステムなども導入した。

亀井組はサンテックパワー製の太陽光パネルの販

売代理店になっている。出力2000ワットのメガソーラー(大規模太陽光発電所)建設の受注もめざしている。

昨年10月には、社長直

万円。
 電力消費量は改築前に比べ3割以上削減できる見込み。省エネビルのモデルとして売り込み、オフィスビル、工場の新築・改築需要を掘り起こす。太陽光パネル販売などを含め、省エネ対策の工事で3年後に年間2億円の売上高をめざす。

また、環境配慮型の高級和風注文住宅「悠久の住まい」の展示場を本社隣に開設した。モデルハウスは木造2階建て、延べ床面積約180平方

発電、LED照明など省エネ技術を導入した。60代以上を主な対象に永住型や2世帯型の住宅として売り込む。建築費は省エネ設備込みで3・

3平方メートルあたり約70万円。年間4戸の販売を目標にする。

亀井組は地場中堅の建設業で2011年9月期の売上高は約26億円。